



グアム知事表敬訪問

グアム知事に温かく迎えて頂き、岡山とグアムの交流について知ることができ、国際交流の大切さを実感する貴重な機会だった。



グアムビーチ

グアムの海を満喫し、ターザンのようなアクティビティを体験してとても楽しかった。白い砂と青い海のコントラストが、本当に綺麗だった。



楽しいひととき

みんなで自分だけのオリジナルピザを作って、笑い合いながら楽しい時間を過ごせたのが、嬉しかった。



グアムの自然

グアムの浜辺、海、空すべてがきれいで見とれてしまいました。そしてこのようなきれいな自然の中で会話していると普段とは違う雰囲気を感じられたのでとても新鮮でした。



ごみ拾い

ビーチでごみ拾いをしている様子です。どこのビーチもゴミが全くと言っていいほど落ちてなくてグアムの人々は自然を大切にしているんだなあと感じました。見つけたごみの多くはプラスチックであり、海の生物に害を及ぼすものなので、人間による環境破壊にもっと目を向けるべきだと感じました。



やみつきな味

「Estafao」(エスタファオ)というチャモロ料理を作っています。この料理はとてもシンプルで、骨付き鶏肉、醤油、酢、ニンニクを鍋で煮る、たったそれだけでできます。とても美味しかったので日本に帰ってから同じレシピで作ってみました。しかし、同じ味になりませんでした。やはり伝統料理はその国、地域で作るからこそ美味しいんだなと思いました。

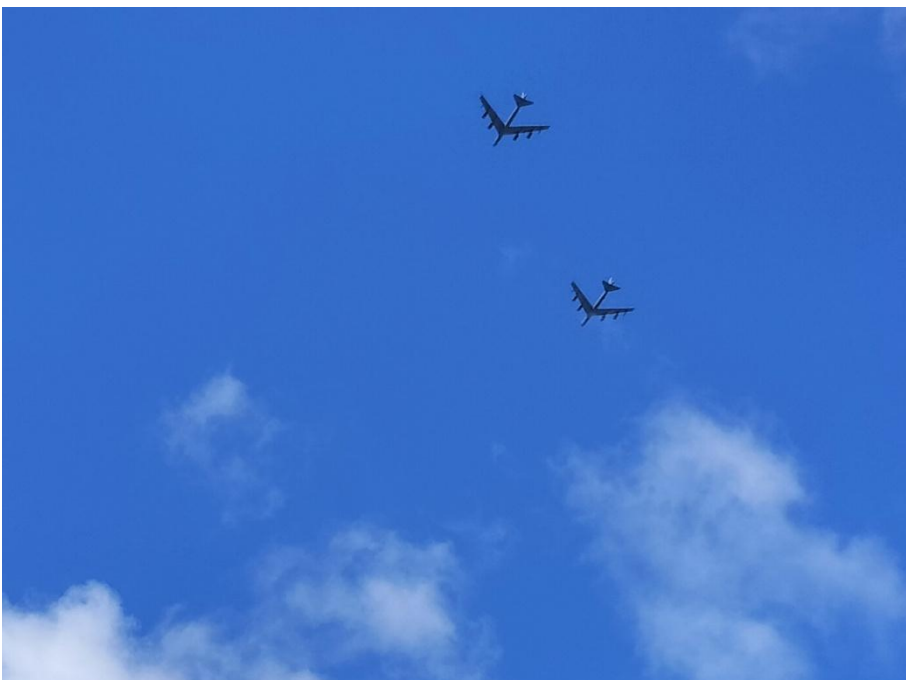


野生のニワトリ

ホームステイ 2 日目の朝。目を覚ますと、なぜかニワトリの鳴き声が聞こえてきた。この写真は、泊まらせてもらった部屋の窓から撮ったものだが、それでも「近い」と感じるほどの距離だった。ホームステイ先の家、あるいは近所の誰かが飼っているのかと思ったが、どうやら違ったようで、後から聞いた話によると、なんと野生のニワトリだったらしい。日本で言うカラスやハトのような存在で、都市部から数キロ離れるだけで普通に見られ、人々の生活に自然と溶け込んでいる——グアムならではの生き物のひとつだった。

グアム上空を飛ぶ「成層圏の要塞」

この独特な機影の飛行機は「B-52」といい、アメリカ空軍が運用する戦略爆撃機である。その性能の高さから、「ストラトフォートレス（成層圏の要塞）」という愛称で呼ばれている。グアム島北部にあるアンダーセン空軍基地には、この B-52 のほか、B-1B や B-2 といった戦略爆撃機が飛来し、西太平洋地域における数少ない戦略爆撃機の展開可能な基地として、非常に重要な拠点となっている。また、グアム島西部のアプラ港海軍基地では、原子力空母の寄港や、第 15 潜水艦隊の母港としての運用が行われており、こちらも同様に戦略的な重要性を持っている。さらに、2023 年に「再開」された海兵隊キャンプ・ブラズには、沖縄に駐屯していた部隊が移転しており、米軍の戦略の変化を示す存在となっている。こうした動きは、戦争と軍事に翻弄され、生活が一変した基地の島・沖縄の歴史と重なる部分があるように感じられた。



かつての道と林

海外派遣の最終日、ホテルに移動した際、近くのビーチを訪れた。そのとき、植物に覆われて見えにくかったが、古びた階段のようなものが目に入った。見送りに来てくれたホストグランドマザーに尋ねると、「あれはトーチカと、当時造られた通路かもしれない」と教えてくれた。それを聞いて、急に興味を持った。潮が少し引いたタイミングで、かすかに見えた足場を慎重に渡って近づいてみると、そこには明らかな人工物があり、それがまさにトーチカだったとわかった。さらに奥へ進むと、上の方へと続いているらしい階段があった。再びホストグランドマザーに聞いたところ、「ホテルが敷地から直接海に出られるように造った階段」なのだそうで、今はもう使われていないようだった。海岸に残されたホテル用の通路と、風化したトーチカ。静かにたたずむその姿から、確かにここにあった歴史の痕跡を感じた。





全てがデカイ、アメリカ グアムの食事

写真は、スーパーで見つけた、顔より大きなクッキーです。

日本での食事をイメージしてオーダーすると大変なことになります。

ハンバーガー、ポテト、ジュース、どれも大きくて、食べる度に、お腹がはち切れるか心配になりました。



青ではなく、ブルーな海と空

グアムの空や海は、青と表現するのではなくブルーと表現するのが適しているように思えます。空と太陽のコントラスト、透明度が高い海。どちらも一瞬にして、心が奪われました。夕方のオレンジも一見の価値あります。



グアム議会場に潜入？

グアム知事とお会い出来たのは貴重な経験でした。その後、普段生活しては入れない、グアム議会場にお邪魔させてもらえました。テレビで見る日本の議会場よりも、穏やかな空気が流れている感じがしました。



一期一会

最終日前、バーベキューのお店で出会った猫ちゃん。撫でさせてくれてとても人懐っこかった。もう二度と会えないのかな、と思いつつさよならをした。

広い、大きい海

グアムはどこも空が広いと感じた。特に海ではそうだった。果てしなく続く空を見ると、海にも思いを馳せてしまう。空と海が交わるあの場所はどうな場所だろう？そんな事を考えていると、空がどんどん広がっていく気がした。海で見る空は広い。



指ハート

ホストファミリーの親戚の人と指ハートで記念撮影をした。ボウリングをホストブラザーとやった後に撮ってもらった写真。このポーズをする時、楽しかったが、ちょっぴり恥ずかしかった。



守りたい美しい海

グアムは観光地として有名なだけあり、写真の恋人岬では、海の青さや美しさが大いに感じられた。一方、砂浜にはゴミが多い区域もあり、清掃活動をした。グアム知事も好きな美しい海を保つため、意識したい。



看板で呼びかける自然保護

グアムは、海や緑や花と、広大で美しい自然が広がっていた。しかし近年、世界的に自然破壊が進行している。その中で、地面火気厳禁やポイ捨て禁止などの取り組みを自然保護地区の看板から実感することができた。



グアム知事を訪ねて

グアム知事を表敬訪問し、とても良い経験となった。知事が守ろうとされている美しい環境に対する熱意を感じ、自分もその努力に共感した。官邸の外にある記念碑や景観からも、様々な戦いの歴史や自然の美しさを感じた。



14 歳、初めての乾杯!?

母に「ビール美味しいよ??」と LINE すると、びっくり顔のスタンプが返ってきました。実はこれ、バドワイザーで有名なアンハイザー社が備蓄用に大量生産している飲料水。災害時には無償配布されるそうです。



白い砂浜、透き通る海

ホストシスターや従兄姉たちと遊んだ思い出のプライベートビーチ。白い蟹をつかまえたり、ターザンロープ、ビーチバレー、BBQ も楽しみました。皆の笑顔と笑い声がよみがえります。いつかまたここに戻りたい。



日本の占領下、漢字の看板。

見慣れない文字の看板に、グアムの人々は何を思ったのだろう。愛国心を傷つけ合った過去の痛みを忘れず、友好を深めていった日本とグアム。今なお戦火に苦しむ全ての国々に、平和な未来が訪れることを願います。



Talaya (タラザ)

Talaya (タラザ)というチャモロ伝統投網漁です。前日、庭で投げ方を練習しました。網にはおもりが付いていて重量があり、上手に投げるのが難しかったです。素材が丈夫で水に強いのでビーチバッグやエコバッグとしても使われています。

The 81st Liberation Day

グアム解放記念日があり、夜は花火が上がりました。学校で学んだ岡山空襲、広島研修でも平和について考えてきましたが、多くの犠牲があって今の暮らしがあることを実感しました。戦争のない世界のために何ができるかを問う、未来につながる行事でした。



ゲレロ知事公邸にて

ホストファミリーの2人と。毎日ずっと一緒に過ごし、英語をゆっくり話してくれたり優しく接してくれました。知事公邸にも行き、多くの人に支えられていることを実感しました。